

令和八年度

広島大学光り輝き入試

総合型選抜（Ⅱ型）

文学部 人文学科

小論文問題

分野	日本文学語学
----	--------

令和七年十月十八日（土）
自 十時三〇分
至 十二時〇〇分

答案作成上の注意

- 二 一 この問題冊子は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
- 二 二 この問題冊子は、表紙を含めて二枚、解答用紙は二枚、下書き用紙は一枚です。
- 二 三 解答開始の指示後、直ちに枚数を確認してください。
- 二 四 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
- 二 五 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
- 二 六 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
- 二 七 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 二 八 配付した問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
- 二 九 問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

総合型選抜（Ⅱ型） 小論文問題

分野 日本文学語学

問一 小川剛生『徒然草をよみなおす』（筑摩書房、二〇二〇年）では、徒然草における章段の関係性について、「著作権保護の観点から、公表していません。

」（同書二十六ページ）と述べられており。その具体例として著者が取り上げたものの中からひとつを選び、その例にかかる著者の主張を要約した上で、あなた自身が考えたことを八百字以内で記せ。

問二 『徒然草をよみなおす』には、著者が新しく掘り起こした兼好像とそれに基づく章段の読み方が提示されている。そのうち、あなたが最も興味深く読んだ章段はどれか、記せ。また、その理由について、著者の主張を踏まえながら八百字以内で答えよ。